

RISK ASSESSMENT ILLUSTRATION SHEET

リスクアセスメント イラストシート

荷役運搬作業におけるリスクアセスメントの実際（第2集）



陸上貨物運送事業労働災害防止協会

1 リスクアセスメントとは

(1) リスクアセスメントは事業場の安全衛生水準を向上させる新しい手法

リスクアセスメントは、事業場のリスクを継続的に低減させ、その安全水準を向上させる手法です。その基本は次のとおりです。

- ① 労働災害発生の可能性の高いものから優先して対策をする。
- ② 労働災害が発生したときに作業者に大きな傷害を及ぼすものを優先して対策をする。

①は災害発生の可能性や頻度、②は災害発生の重篤性（重大性）といわれます。

(2) リスクアセスメントは職場の危険・有害度を総合的に評価

災害発生の可能性を少なくし、万が一災害が発生してもできるだけ軽微なものとなるように対策をたてることが労働災害防止を進める上で効果的と考えられます。

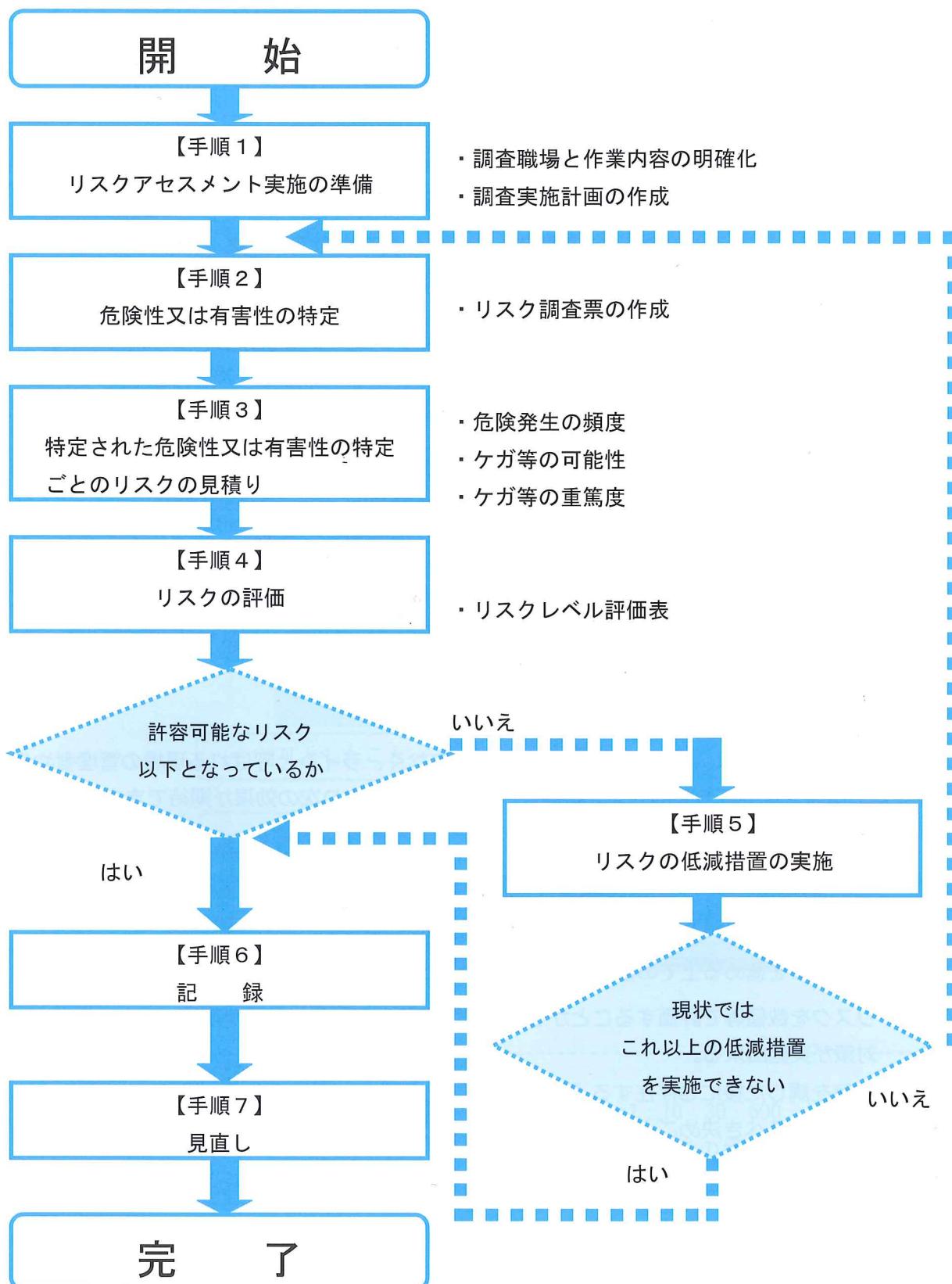
リスクアセスメントは、①と②の要素を総合的に評価し、より危険度、有害度の高いものから優先的に対策をたてるという安全衛生の手法です。

労働災害防止には、職場のリスクを低減させる「リスクアセスメント」が効果的です。



4 リスクアセスメントの手順

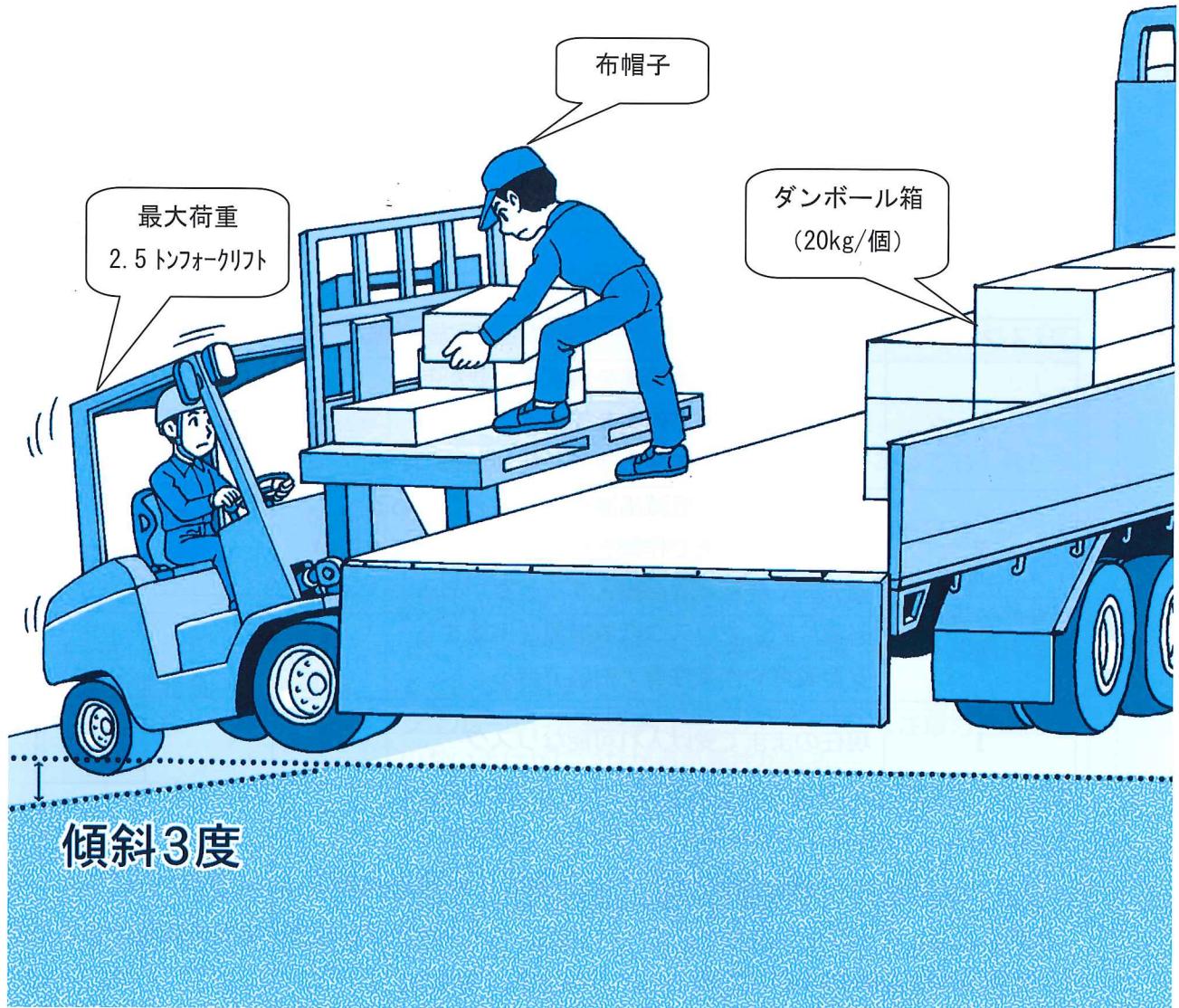
リスクアセスメントの手順図



参考事例

次の作業例でリスクアセスメントを行ってみましょう！

フォークリフトでトラックからパレット荷（段ボール箱）を取り卸しています。



- 走行床面が傾斜（3度）しています。
- フォークリフトはリフトしたままでです。
- エンジンは掛けたままでです。

手順4 現状のリスクの見積と評価及びリスク低減措置の内容とその後の見積りと評価
(リスク低減措置の分類別検討方式)

実施年月日_____ 作業名_____

① リスクアセスメント用紙 (リスク見積り・評価)

| 作業分析 | | | | | 現状のリスク見積り・表 | | | | | | |
|------|------------------------------------|-------------|-------------|------|-------------|---|---------|----------|----------|-------------|------|
| No. | 作業項目 | 作業頻度 回/日 | 作業時間 分/回 | 作業形態 | No. | 発生の恐れのある災害の内容 | 頻度 F | 可能性 P | 重大性 S | 合計 F+P+S | 優先順位 |
| | | | | | | | | | | リスクレベル | |
| 1 | フォークリフトによるトラックからパレット荷(段ボール箱)の取卸し作業 | 5回/日 | 60分/回 | 定常 | 1 | 床が傾斜しているため、駐車ブレーキが甘いとフォークリフトが後退して、作業者が隙間から転落する。 | 4 | 6 | 6 | 16 | 1 |
| | | | | | 2 | 作業者がパレットに足を乗せた時、フォークリフト上のパレットが傾き、作業者が転落する。 | 4 | 4 | 6 | 14 | 2 |
| | | | | | 3 | 素手で段ボールを取り扱っているので、手を損傷する。 | 4 | 6 | 1 | 11 | 3 |

注：リスクレベルが一番高いと予想される災害（優先順位第1位）について、分類別低減対策（本質安全化・工学的対策・管理的対策・個人用保護具の使用）を考える。それらを考慮した上で現状において措置可能かつ現実的な低減措置を考案し、リスク評価を行う。

② リスクアセスメント用紙 (分類別リスク低減対策)

| リスク見積 No. | 1 | 作業 項目 | フォークリフトによるトラック からパレット荷(段ボール箱)の 取卸し作業 | 作業 頻度 | 5 回/日 | 作業 時間 | 60 分/回 | 作業形態 定常 非定常 | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---|--|----------|-----------|------------|------------|----------------|------------|--|
| 発生の恐れ のある災害 内容および 見積り・評価 | フォークリフトのサイドブレーキが甘いと、後退して作業者が転落する。 | | | | 頻度 (F) | 可能性 (P) | 重大性 (S) | 合計 F+P+S | リスク レベル | 備 考 |
| | | | | 4 | 6 | 6 | 16 | IV | | |
| リスク 低減措置 | 措置の 分類 | リスク低減措置内容 | | | 頻度 (F) | 可能性 (P) | 重大性 (S) | 合計 F+P+S | リスク レベル | 備 考 *新たに発生する災害、対策の現実性等 |
| 1 | 本質 安全化 | パレットに積み替える作業をなくし、パレット荷として輸送し、フォークリフトにて直接トラックより荷卸し作業を行う。 | | | 1 | 1 | 1 | 3 | I | フォークリフト荷卸し作業中の接触災害 |
| 2 | 工学的 対策 | 走行床面の傾斜を補修する。 | | | 1 | 2 | 6 | 9 | III | 補修コストの発生 |
| 3 | 管理的 対策 | 作業手順の徹底（パレットを荷台に預ける。エンジン停止、駐車ブレーキを引き、フットブレーキも使用）作業開始前にKYKの実施。 | | | 2 | 4 | 6 | 12 | IV | 手順書徹底のための教育、作業時の監督体制の充実 |
| 4 | 個人用 保護具 の使用 | 保護帽を使用する。 | | | 4 | 6 | 3 | 13 | IV | 保護帽の正しい使用についての教育 |
| 現実的な低減措置 | | 走行床面の平坦な場所を作業場所として選択、作業手順の徹底、作業指揮者による監視の実施、作業開始前のKYKの実施、保護具の完全な使用 | | | 1 | 2 | 3 | 6 | II | 残留リスクとその対処方法 災害の発生を完全に防ぐことは出来ないが、残留リスクの共有が可能。 |

注：作業指揮者による監視の実施が、個人用保護具使用によりリスクを下げるための担保行為とし職場の意思統一を図る。

リスクアセスメントイラストシート

事例

No. 作業内容

- 1 車両積載型トラッククレーンによる建設資材積込み作業
- 2 ビル内における宅配便運搬作業
- 3 ホーム上でのロールボックスパレット移動作業
- 4 リーチフォークリフトによる荷の移動作業
- 5 トラックからのロールボックスパレット荷の取卸し作業
- 6 テールゲートリフター車による荷の積込み作業
- 7 ベール（ペットボトル廃棄物）のクランプフォークリフトによるトラックからの荷卸し作業
- 8 商品保管センターにおけるピッキングフォークリフト使用の商品搬出入作業
- 9 フォークリフトによる工場構内パレット回送作業
- 10 木材を積載したトラック上でのラッシング作業
- 11 トレーラー上にて積込みしたプレス機械の荷締め作業
- 12 トラックに積載された荷を取卸すための準備作業
- 13 チップ積載車上での飛散防止ネット張り作業
- 14 飼料工場における飼料積込作業
- 15 荷台上への乗り込み